

LINE アンケート調査自由意見の分析

テーマ	件数	割合	代表的な意見
行政・市役所への不満	40	13.6%	・市役所が遅いです。 ・市役所職員の態度が悪い。 ・何をやっているのかわからない（市長への不信）。
道路・交通・インフラ	35	11.9%	・横断歩道や止まれの白線が薄くなっています。 ・道路があちこちへこんでいる／排水が悪い。 ・街灯の増設や歩道除草の要望。
高齢者支援・福祉	30	10.2%	・高齢者にも分かりやすい情報発信をお願いしたい。 ・高齢者向け居場所（麻雀など）を作してほしい。 ・特養等の施設を増やしてほしい。
子育て・保育・教育	25	8.5%	・保育園が少なすぎる（入所困難の指摘）。 ・子育て支援は助かるが別の支援も欲しい。 ・給食無償化の公平性に問題あり。
災害対応・防災	20	6.8%	・台風時の対応が遅く補償が不十分。 ・避難訓練や避難場所の整備が不十分（避難塔等の要望）。 ・冠水対策・堤防等の早期対応要望。

テーマ	件数	割合	代表的な意見
税金の使い方・予算・透明性	18	6.1%	・ディズニーのパレードは本当に必要だったか。 ・税金の使途が見えない／不要な支出への疑問。 ・ふるさと納税の使途に不満。
自治会・町内会の負担	22	7.5%	・回覧板や配布物は全廃し DX 化を。 ・民生委員の任期や運営に問題あり。 ・自治会負担が重く後任が決まらない。
外国人受入れに関する懸念	15	5.1%	・外国人と高齢者ばかり優遇する政策は反対。 ・増える外国籍の方のマナー教育や交通ルール指導を。 ・外国人の集団が怖いという声（店舗利用に影響）。
デジタル・情報発信	12	4.1%	・PC で見づらい資料、画面表示対応を。 ・LINE 限定施策が高齢者排除につながる懸念。 ・回覧板の廃止や情報集約の要望。
医療・病院整備	18	6.1%	・早く病院を建て替えてください。 ・医療機関が身近に整っていない不安。 ・難病・障害者向け医療費等の見直し要望。

テーマ	件数	割合	代表的な意見
駅周辺・観光・まちづくり	14	4.7%	・焼津駅周辺の再開発を早くしてください。 ・観光資源（食べ歩き等）の活用を。 ・駅前に若者が戻る施策を（企業誘致等）。
公共交通（バス・駐輪等）	16	5.4%	・バスの本数・路線が少ない。 ・駐輪場が満杯で定期利用が半年待ち。 ・シェアサイクル（パルクル）導入希望。
環境・海岸・公園・ゴミ対策	10	3.4%	・高草山の木を切り倒した件への不満。 ・ゴミ分別や焼却の改善要望。 ・港や沿岸部の補修要望。
ポジティブ／感謝	8	2.7%	・子供への施策は大変満足している。 ・子育て給付金はありがたいという声。 ・介護支援に感謝する意見。
その他（分類不能・個別）	12	4.1%	・近所のスケボー小僧を何とかして欲しい。 ・市場の寂れ、買い物不便の指摘。 ・空き家・耕作放棄地対策の要望。

自由意見の簡単な所見

- 行政への不満、道路・インフラ、そして高齢者支援に関する声が比較的多く、生活の基盤に直結するテーマへの関心が高い。
- 子育て支援については「評価する」意見と「不足を訴える」意見が混在しており、政策の受益実感や配分への公平性に関する議論が見られる。
- 外国人受入れに関する懸念や自治会負担の問題は、コミュニティ運営や安全・マナーにかかわるテーマとして目立つ。

LINE アンケート結果の要約と分析

1) 調査の概要（母数・属性）

- 回答数：1371 件（集計合計）
- 性別：女性 55%、男性 44%、無回答 2%（概数）
- 年代：70 代以上が 28%と高く、50 代も 25%と中高年層に偏りが見られる（若年層は相対的に少ない）。
→ サンプルは高齢側に偏っているため、政策優先度解釈には年齢分布の影響を考慮する必要がある。

2) 全体的な傾向（スコア）

- 平均満足度（5 段階スケール換算）は 3.076 点、平均重要度は 4.163 点で、重要度が満足度を大きく上回っている（期待・要求は高いが満足は中位）。
→ 「重要だが満足していない」施策群が改善優先となる。

3) 項目別の注目点（満足度・重要度の代表）

- 満足度が高めの上位例：
 - みんなで支える子育て環境の充実（満足度 3.309）
 - 水産業の振興（満足度 3.292）
 - 健康で豊かな暮らしの実現（満足度 3.241）
- 満足度が低めの下位例：
 - 雇用・就労環境の充実（満足度 2.751） - 最低値に近い
 - 商工業の振興（満足度 2.905）
 - 農業の振興（満足度 2.961）
- 重要度が高い項目（上位）：
 - 安心で良質な医療の提供（重要度 4.567）
 - 安全安心な暮らしの推進（重要度 4.566）
 - 健全で効果的な行政運営（重要度 4.412）・雇用・就労環境の充実（重要度 4.408）など

4) ギャップ分析（重要度 - 満足度）＝改善優先度の目安

（代表的な大きなギャップ）

- 4-（5）雇用・就労環境：重要度 4.408 - 満足度 2.751 $\div$ ギャップ 1.66 → 最優先改善候補
- 5-（3）良好な住環境（重要度 4.466 - 満足度 2.947 $\div$ 1.52）、5-（2）暮らしを守り支える社会基盤（4.465 - 2.941 $\div$ 1.52） → 住宅・インフラ系の改善優先度も高い
- 4-（3）商工業・4-（2）農業：重要度は高め（約 4.17 前後）だが満足度は低め（約 2.9～3.0）、経済分野の支援・施策強化が必要

→ 総じて「雇用・就労」「住環境／社会基盤」「商工業・農業」などが、住民にとって重要だが満足度が低い分野となっている。